

九州朝日放送番組審議会議事概要（6月分）

第594回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成29年6月19日（月） 午後3時30分～5時10分
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名 出席委員数 8名</p> <p><b>（出席委員）</b> 宮田 克彦委員長、古宮 洋二副委員長、 安恒 万記委員、井手 雅春委員、 鶴 利絵委員、三好 京子委員、 野田 幸之輔委員、池田 勝委員</p> <p><b>（放送事業者側出席者名）</b> 代表取締役社長 和氣 靖 常務取締役 二木 清彦 取締役編成制作局長 清水 透 報道局長 臼井 賢一郎 ラジオ局長 園田 哲也 報道部長 柴田 高宏 プロデューサー 永山 弘二 ディレクター 荒木 愛子</p> <p>視聴者・広報室長兼番審事務局 奥園 徹 事務局 竹下 優（テレビ編成部）、松永 俊郎（視聴者・広報室）</p>
議題	<p>&lt;テレビ番組&gt; 「果てなき家路 ～戦後72年 進まぬ遺骨収集～」 &lt;放送日&gt;平成29年5月30日（火）深夜3時20分～4時20分</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>訂正放送について</li> <li>平成29年6・7月度 ラジオ・テレビ番組編成状況</li> <li>平成29年5月 視聴者・聴取者応答状況の報告</li> <li>次回平成29年7月度（第595回）審議会日程 7月18日（火）午後3時30分～開催 &lt;課題&gt; ラジオ番組「川上政行 朝からしゃべりずき！」 放送日 5月22日（月）午前6時30分～9時30分</li> <li>その他</li> </ol>
議事の概要	<p>◎委員の意見（概要）</p> <p>委員からは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な立場の人に丁寧に取材を行い、それぞれの視点から問題点を偏りなく浮き彫りにした構成になっていた。派手さはないが良質なドキュメンタリー番組だった。</li> <li>○2016年4月に戦没者遺骨収集推進法が制定され、進展が期待されたものの、政府の本気度が足りないからか、未だ進まぬ遺骨収集の実態を見て大変残念に思った。</li> <li>○千鳥ヶ淵戦没者墓苑拜礼式で家族の元へ帰ることができなかった遺骨が無縁仏として納骨されるラストシーンは憲法改正が取り沙汰される今、本番組は視聴者に色々なことを考えさせる有意義な番組だった。</li> </ul> <p>などの評価を頂きました。</p> <p>また、気になる点や望むこととしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○早急な対応が求められる課題に対して、国は民間団体やボランティアに任せすぎで、後手に回っているという印象を受ける。視聴者はこうした現状を知っても何もできない。報道のできることとしてぜひ継続した取材をお願いしたい。</li> <li>○積極的なDNA鑑定で「戦死した全ての兵士を国に帰す」とする米国政府とは対照的に、日本の厚生労働省は「DNA情報は個人情報」と位置づけ、慎重な姿勢を崩さない。戦没者やご遺族のことを考えると、日本政府の積極的な対応が望まれる。</li> <li>○2016年4月に戦没者遺骨収集推進法が制定されることになった過程について、もう少し触れて欲しかった。</li> <li>○放送時間が平日の深夜では、これだけ良い番組を放送しても視聴者は少ないのではないかと思った。こうした実情をもっといろいろな人に知らせるべきだと思う。</li> </ul> <p>などの批評や提言を頂きました。</p> <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今回は（日本人遺骨収集問題を扱う）3作品目とあって、しばしば制作者が陥りがちな「分かったつもり」で番組を作ってしまうことがないよう、初めて見る人にも分かりやすく広く伝えようと心がけた。一方で、取材対象が多岐にわたり、分かりづらかったのではなからうかと懸念もあったが、きょうの意見をお聞きして概ねご理解いただけたかなと安心した。</li> <li>○余計なナレーションは可能な限り削ぎ落として、映像や音、遺族の方の表情で表現することを心がけた。</li> <li>○まだまだ解決していないことがたくさんある。なにより戦争が終わっていないという家族がいらっしゃる限り、取材を続けていけたらいいと思っている。</li> </ul> <p>などの説明をしました。</p>